

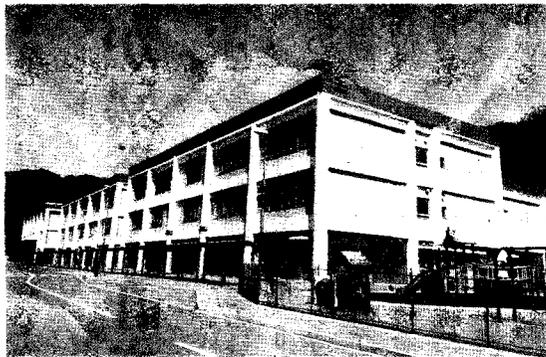
少人数学級の実現は、教職員や父母の長年の願いです。

とりわけ、新型コロナウイルスの感染拡大のなか、感染予防と豊かな学びを保障するために、少人数学級実現を求める声が大きく広がっています。一方、米軍「思いやり予算」で建設された在日米軍基地内の学校は少人数学級が実現されています。日本の子どもたちには感染リスクと背中合わせの過密な教室を押し付けながら、米軍には日本の税金で快適な学校を提供する。その不当性がコロナ禍で問われています。

↓関連②面

米軍は少人数学級

「思いやり予算」使い



池子住宅地区(神奈川県横浜市、逗子市内)小学校(日本共産党の岩室年治逗子市議撮影)

日本が資金提供

米軍基地内の学校を運営する米国防教育局(DODEA)によれば、小学校1〜3年の1クラスあたりの定員は18人、小学校4年〜中学生まで

■小中学校の定員・教室面積

	日本	米軍基地内の学校
定員(人)	小1 35 小2〜40	小1〜小3 18 小4〜 24
面積	63〜64㎡	79㎡

は24人とされています。一方、日本では小1でも35人、小2以降は40人です。教室の面積基準も79平方メートルで、63〜64平方メートルとされる日本の平均的な教室より広がっています。

DODEAによれば、現在、在日米軍基地に存在する学校(小中高)は33。一方、防衛省が日本共産党の赤嶺政賢衆

■在日米軍基地内の学校数

本 土	三 沢(2)	※
	横 田(4)	
	横 須 賀(4)	
	座 間(2)	
	厚 木(1)	
沖 縄	岩 国(4)	※
	佐 世保(3)	
	嘉 手 納(7)	
	マクトリアス(1)	
	桑 江(1)	
合 計	瑞 慶 覧(3)	33
	牧 港(1)	

※近隣の住宅地区を含む

日本の子らにも

院議員に提出した資料によれば、「思いやり予算」の一部である「提供施設整備」(FIP)に基づいて日本が資金提供した学校数は36です。建設費は時期や規模によって異なりますが、米軍関係者の子どもたちの通学の負担を減らすためとして、2014年に完成した池子住宅地区(神奈川県)内の小学校の場合、予算額は約67億円にのぼっています。

17年に同小学校を視察した日本共産党の岩室年治逗子市議によれば、教員と補助教員の2人体制で授業が行われており、いじめ問題などに対応するため、心理カウンセラーが年に2回、生徒全員と面談するといえます。岩室議員は「同じ教育環境が逗子、日本の子どもにも提供できたら」との感想を持ったといえます。

米軍「思いやり予算」による主な施設

施設名	整備数	予算額 (単位:百万円)
家族住宅	11461	557665
学校	36	53163
育児所	22	11975
病院・診療所	20	29677
販売所・郵便局・銀行・ガソリンスタンド・放送施設	46	24384
青少年センター・コミュニティセンター・教会	14	7497
運動施設	49	34840
消防署・消火施設、防火施設	47	28992
隊舎(単身者用宿舎)	213	208733
管理棟	201	165803
倉庫	184	119580
教育施設・訓練施設	33	22623
工場・整備施設	170	151636
棧橋	9	29658
護岸	6	6147
滑走路	2	6761
整備用格納庫	20	39491
駐機場	6	17450
航空機えん体(シェルター)	46	41087